

渡辺裕子教授主要経歴・著作目録

学 歴

- 1975年4月～1979年3月 横浜国立大学教育学部卒業
1980年4月～1982年3月 東京都立大学大学院社会科学研究科社会学専攻修士課程終了社会学修士
1982年4月～1985年3月 東京都立大学大学院社会科学研究科社会学専攻博士課程単位修得
2007年10月～2009年3月 東北大学大学院文学研究科リサーチフェロー
2009年2月 東北大学大学院文学研究科行動科学 博士(文学)

職 歴

- 1985年7月～1995年3月 東京都衛生局, (助)東京都神経科学総合研究所社会学研究室派遣主事
1995年4月～2010年3月 駿河台大学経済学部経済経営学科准(助)教授
2010年4月～2013年3月 駿河台大学経済学部経済経営学科教授
2013年4月～2024年3月 駿河台大学経済経営学部経済経営学科教授
2014年4月～2016年3月 駿河台大学経済研究所所長
2015年4月～2024年3月 駿河台大学大学院総合政策研究科経済・経営学専攻教授

著 作

1. 学位論文

『精神薄弱児の職業的社会的な状況—その状況・過程・要因—』東京都立大学社会

学修士 第276号, 1982年

『社会福祉における介護時間の研究へのタイムスタディ調査の応用』東北大学博士 (文学) 第251号, 2009年

2. 社会福祉分野の研究

(1) 著書

『老いを生きる (第1巻)』思索社, 221-264頁 (共著) 1988/04

『保健・医療・福祉をつなぐ考える技術』医学書院, 1-129頁 (共著) 1997/09

『社会福祉における介護時間の研究—タイムスタディ調査の応用—』東信堂, 1-219頁 (単著) 2010/01

『大学等に通学する障害者に対する支援モデル事業・報告書—全身性障害のある学生を対象として— (厚生労働省平成28年度障害者総合福祉推進事業)』, 1-105頁 (共著) 2017/03

(2) 論文

「精神薄弱児における職業的社会化の様相とパターン」『横浜国立大学人文紀要 (第1類哲学・社会科学)』21, 25-42頁 (共著) 1982/10

「老人の主観的幸福感尺度の方法論的検討」『季刊社会保障研究』20(1), 81-91頁 (単著) 1984/06

「身体障害者の在宅生活と高齢化の影響—脊髄損傷者を対象に—」『社会老年学』30, 53-63頁 (共著) 1989/08

「健常者との外見上の差異がもたらす社会的不利について—小人症の問題を通して—」『社会福祉学』32(2), 159-177頁 (単著) 1991/10

「タイムスタディ調査データ活用による特別養護老人ホームにおける介護のシミュレーション分析」『社会福祉学』33(2), 243-269頁 (単著) 1992/10

「障害構造の分析モデル—WHO国際障害分類の分析枠組みの活用—」『社会福祉学』35(2), 64-84頁 (単著) 1994/12

「WHO国際障害分類の改定動向と「1993年の重版への序文 (翻訳)」」『障害者問題研究』23(3), 81-87頁 (共著) 1995/11

「医療・福祉専門職の倫理的ディレンマのための分析枠組みとその活用」『駿河台大学論叢』11, 161-187頁 (単著) 1995/11

- 「『障害過程論』の構築をめざして」『社会福祉学』37(2), 84-100頁 (単著)
1996/11
- 「倫理的ジレンマに関する統計的研究—保健・医療・福祉の5つの専門職の比較—」『看護学雑誌』61(11), 1046-1052頁 (共著) 1997/11
- 「家族と介護—飯能市民の介護意識に関する調査から」『経済研究所所報』3, 駿河台大学経済研究所, 98-123頁 (単著) 2000/09
- 「飯能市における社会福祉サービスのニーズと需要」『経済研究所所報』6, 駿河台大学経済研究所, 158-172頁 (単著) 2003/09
- 「ボランティア活動の規定要因とメカニズム」『駿河台大学論叢』28, 101-128頁 (共著) 2004/07
- 「駿河台大学におけるボランティア活動—学生のライフスタイル, 及び学内の支援体制との関連において—」『駿河台大学論叢』29, 113-135頁 (単著) 2004/12
- 「障害者の社会統合のための条件—飯能市民の障害者に対する意識調査から—」『経済研究所所報』10, 駿河台大学経済研究所, 159-188頁 (共著) 2007/09
- 「社会参加の諸類型と福祉社会創造の戦略—障害者に対する市民意識調査から—」『駿河台経済論集』17(2), 141-159頁 (単著) 2008/03
- 「飯能市において地域の福祉力は減退しているか」『駿河台経済論集』19(1), 93-109頁 (単著) 2009/09
- 「地域福祉活動への意欲における地区間差の生成メカニズム」『駿河台経済論集』19(2), 1-21頁 (単著) 2010/03
- 「埼玉県西部地区5市における福祉力」『駿河台経済論集』21(1), 61-78頁 (単著) 2011/09
- 「東日本大震災におけるボランティア行動—埼玉県西部地域の統計調査から—」『経済研究所所報』15, 駿河台大学経済研究所, 99-118頁 (単著) 2012/09
- 「震災時に想定される避難所運営の課題—防災訓練参加者調査から—」『駿河台経済論集』23(1), 77-102頁 (単著) 2013/09
- 「被災地の遠隔地からのボランティアに対するコスト意識と活動意向—防災訓練参加者調査から・そのII—」『駿河台経済論集』24(1), 1-25頁 (単著)

著) 2014/09

「被災地の遠隔地からのボランティアの問題と支援のあり方—東日本大震災における活動支援金受給団体の分析を通して—」『社会福祉学』55(3), 106-117頁(単著) 2014/11

「東日本大震災における学生ボランティアの活動実態—ボランティアサポート募金受給団体の分析から—」『駿河台経済論集』24(2), 129-148頁(共著) 2015/03

「東日本大震災のボランティア活動における被災地格差とその規定要因」『駿河台経済論集』26(2), 1-24頁(単著) 2017/03

「ボランティア活動の経済的価値のマクロ的分析—「社会生活基本調査」を用いて—」『駿河台経済論集』27(1), 25-50頁(単著) 2017/09

「障害者就労訓練の場としての公共施設内飲食店における運営の課題：NPO法人の事例を通して」『駿河台経済論集』28(1), 21-47頁(単著) 2018/09

「事業型NPO法人における人事管理の現状と課題」『駿河台経済論集』29(1), 21-44頁(単著) 2019/09

「ボランティア・社会参加活動の時間構造に関する分析—「社会生活基本調査」を用いて—」『駿河台経済論集』29(2), 69-92頁(単著) 2020/03

「埼玉県西部地区4市の介護保険—現状と課題」『駿河台経済論集』33(1), 1-28頁(単著) 2023/09

(3) その他

『小人症児・者の意識と社会生活に関する調査報告書』東京都神経科学総合研究所, 1-154頁(単著) 1987/04

『小人症者の社会適応—下垂体性小人症と軟骨異栄養症の比較を中心に—(トヨタ財団研究助成報告書)』, 1-10頁(単著) 1988/03

『小人症者の心理と社会生活に関する調査報告書』東京都神経科学総合研究所, 1-13頁(単著) 1989/03

『オストメイトの生活—第3回調査結果—』東京都神経科学総合研究所, 23-33頁(共著) 1990/07

『厚生省心身障害研究 小児の心身障害予防, 治療システムに関する研究(平成4年度研究報告書)』, 287-290頁(共著) 1993/03

- 『東京都における先天異常モニタリング1992年報告』東京都神経科学総合研究所, 1-33頁 (共著) 1993/11
- 『厚生省心身障害研究 小児の心身障害予防, 治療システムに関する研究(平成5年度研究報告書)』, 247-250頁 (共著) 1994/03
- 『低身長児・者の実態とニードに関する調査報告書』東京都神経科学総合研究所, 1-16頁 (単著) 1995/03
- 『飯能市における地域福祉計画に関する研究—飯能市民の介護意識に関する調査報告』駿河台大学地域福祉研究会, 1-102頁 (共著) 1999/03
- 『飯能市における地域福祉計画に関する研究(その2)—飯能市の老人福祉サービスの実態調査報告—』駿河台大学地域福祉研究会, 1-101頁 (共著) 2000/03
- 『在宅高位頸髄損傷者の介護に関する調査(社会福祉・医療事業団助成研究)』日本せきずい基金, 1-40頁 (単著) 2001/03
- 『福祉社会事典』弘文堂 (共著) 2001/05
- 『言語聴覚障害学』新興医学出版社, 211-217頁 (共著) 2001/09
- 『飯能市における地域福祉計画に関する研究(その3)—飯能市の老人福祉サービスの資源計画と組織計画』, 駿河台大学地域福祉研究会, 1-99頁 (共著) 2002/03
- 『在宅高位頸髄損傷者の介護システムに関する調査報告書(社会福祉・医療事業団助成研究)』, 日本せきずい基金, 1-45頁 (単著) 2003/03
- 『市民調査からみた「私たちのふくし意識, ふくし活動」』『はんのう ふくしの森プラン(飯能市地域福祉計画/第2次地域福祉活動計画)』, 22-24頁 (単著) 2009/06

3. 青少年に関する研究

(1) 論文

- 「中学生の性的経験と社会的環境」『別冊教育技術(中学生・高校生・大学生の性行動白書)』10, 小学館, 37-58頁 (単著) 1989/09
- 「高校生・大学生の性的経験と社会的環境」『別冊教育技術(中学生・高校生・大学生の性行動白書)』10, 小学館, 59-76頁 (単著) 1989/09
- 「発達の基準と評価—児童の性役割の認知と内面化に関して—」『理論と方

- 法』4(2), 57-75頁 (共著) 1989/10
- 「豊かな社会」における若い女性の社会進出に対する消極性—娘世代と母世代の比較調査結果から—『愛知大学短期大学部研究論文集』15, 47-61頁 (単著) 1994/11
- 「消費社会と大学生のライフスタイル」『駿河台大学論叢』14, 161-187頁 (単著) 1997/05
- 「移動体通信機器の普及と大学生のライフスタイル」『駿河台大学論叢』16, 85-108頁 (単著) 1998/06
- 「大学生における現代的恋愛の諸相」『駿河台大学論叢』20, 155-179頁 (単著) 2000/06
- 「中学・高校・大学生の性行動—第5回青少年の性行動全国調査結果から—」『周産期医学』32(2), 143-146頁 (単著) 2002/02
- 「大学生におけるフリーター志向とその形成メカニズム」『駿河台大学論叢』24, 83-104頁 (単著) 2002/07
- 「施設・設備の利用からみた駿河台大学学生のキャンパス生活」『駿河台大学論叢』32, 67-89頁 (単著) 2006/07
- 「異性関係の変容と学校集団の影響」『子どもと性 (リーディングス・日本の教育と社会 第7巻)』日本図書センター, 59-79頁 (単著) 2007/06
- 「大学生における現代的恋愛の諸相 (Ⅱ) —1990年代調査との比較—」『駿河台大学論叢』41, 105-129頁 (単著) 2011/01
- 「消極化する高校生・大学生の性行動と結婚意識」『「若者の性」白書—第7回青少年の性行動全国調査報告』小学館, 81-100頁 (単著) 2013/08
- 「第7回JASE調査からみえてきたもの」『性の健康』12(2), 32-37頁 (単著) 2014/03 (単著)
- 「本学学生の民間企業への就職活動の実態と成功要因」『経済研究所所報』19, 駿河台大学経済研究所, 31-50頁 2015/09
- (2) その他
- 「本学学生の就職活動と進路選択にみられる近年の傾向」『経済研究所所報』18, 駿河台大学経済研究所, 121-130頁 (単著) 2016/09

4. マーケティング・リサーチに関する研究

(1) 論文

- 「健康・福祉関連サービス及び商品の購買意向に関する調査—中間報告—」
『経済研究所所報』 4, 駿河台大学経済研究所, 56-93頁 (単著) 2001/
09
- 「大学生のファッションブランドの購買意識・行動と社会関係」『駿河台経
済論集』 26(1), 1-22頁 (単著) 2016/09
- 「大学生のファッションの購買意識・行動とソーシャルメディアの影響」『駿
河台経済論集』 30(1), 2-25頁 (共著) 2020/10
- “Development of Mail-Order (Online) Food Shopping in Japan”, The Bul-
letin of Institute for Economic Research 23, Surugadai University, pp.
3-24 (共著) 2020/11
- 「若者のファッション消費をめぐる言説の虚実—全国消費実態調査の分析か
ら—」『駿河台経済論集』, 31(1), 71-100頁 (単著) 2021/10
- 「化粧品のパイプラインのメカニズムと情報源の機能—20~50代女性の調査から
—」『駿河台経済論集』, 32(1), 35-60頁 (単著) 2022/10

5. その他の研究

(1) 論文

- 「準拠集団論の問題点」『社会学論考』 4, 東京都立大学社会学研究会, 1-22
頁 (単著) 1983/05
- 「社会化メカニズムの分析枠組み—準拠集団理論と同一視理論の検討—」『駒
沢社会学研究』 21, 127-151頁 (単著) 1989/03

(2) その他

- 『新版 社会学辞典 (第9部門 社会調査)』学文社 (共著) 1985/05
- 『新社会学辞典』有斐閣 (共著) 1993/01